

## 1月の主な行事



1日 : 元日	15日 : 警視庁創設記念日
6日 : 出初め式	17日 : 防災とボランティアの日
7日 : 七草	20日 : 大寒
8日 : 平成スタートの日	24日 : 全国学校給食週間
10日 : 110番の日	26日 : 文化財防火デー
11日 : 鏡開き・成人の日	27日 : 国旗制定記念日



## 今月のかわら版 : 1 「出初め式(でぞめしき)」

お正月恒例行事の出初め式(でぞめしき)。公式には消防出初め式といい、消防職員や消防団が新年行う最初の演習のことです。

### ◆出初め式の起源◆

遠く江戸時代万治2(1659)年1月4日にさかのぼります。時の老中**稲葉伊予守正則**が、「定火消(じょうびけし)」総勢4隊を率いて上野東照宮で顔見せの儀式「出初」を行い氣勢を上げたことが由来とされています。このことは、2年前の明暦3(1657)年に当時の江戸の大半を消失し、死者10万人ともいわれている明暦の大火(振袖火事)の後、絶望状態にあった江戸の市民に大きな希望と信頼を与えました。

以来、出初は毎年1月に上野東照宮で行われることになり、次第に儀式化され全国でお正月の恒例行事として、受け継がれています。

### ◆日本の消防◆

長らく日本には消防の組織が置かれず、火災に対してほとんどなす術がありませんでした。度重なる大火を契機に幕府重臣たちは、大火の原因が放火犯の仕業であると考え、まず将軍や江戸城を守ることを第一に、武士によって組織された「武家火消(ぶけびけし)」を設けました。武家火消しは幕府直轄で旗本が担当した「定火消」と大名に仕事として割り当てた「大名火消(だいましょうびけし)」で構成されていました。

このように江戸時代初期は、町人に対する火事対策はほとんど考えられていませんでした。町人の力が大きくなるにつれて幕府の対策にも変化があらわれるようになり、八代将軍**徳川吉宗**による享保の改革の一環として町人による「町火消(まちびけし)」が設けられました。その後、町奉行に就任した**大岡忠相**(おおかただすけ)が、隅田川から西を担当するいろは組47組(のちに「ん組」が加わり48組)と東を担当する本所・深川の16組が設けられました。町火消は、毎年正月の1月4日に各組の町内で梯子乗りや木遣り歌を披露する出初(はつで)を行いました。これは、定火消が行っていた出初に倣ってはじめられたものです。

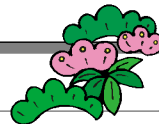
江戸以外の大都市や各藩の城下町などでも、それぞれ火消の制度が定められ、明治維新後に廃止、改編を重ね、現代の消防署、消防団へと繋がっています。

江戸時代より続く出初め式ですが、現在は、放水訓練、消防団・消防自動車のパレード、消防職員・消防団・消防功労者に対する表彰なども行われ、地域によってさまざまな催しが行われているようです。

年頭に出初め式を見学して、消防団の活動や訓練を知り、防火防災意識を高めてみるのもいいですね。



## 今月のかわら版 : 2 「日本の色」



ずっと昔から大切にされてきた日本の色の世界。日本に古くから伝わる色の名前はどれも味わい深いものですね。現代では赤、青、緑、黄のように大まかに捉えてしまう色ですが、昔の人は微妙な違いを見つけ、日本人ならではの繊細な感性で使い分けていました。

**緋色(ひいろ)** …黄みを帯びた赤。人間が操る炎の色から火色とも書きます。

**茜色(あかねいろ)** …染料の茜で染めたやや濃い赤。額田王の歌にあるように万葉集には茜を詠んだ歌が多く、「あかねさす」という言葉が「日」「昼」「照る」「紫」などにかかる枕詞とされています。

**鶺鴒色(ときいろ)** …黄みのある淡くやわらかい赤。鶺鴒が飛ぶ時に見せる風切羽に似たピンク。

このように同じ「赤」を示す色名だけでもまだまだあり、それぞれとても美しい名前がついています。色の名前には、日本人の文化や文明の歴史、生活が反映されていて、日本人のものの見方や考え方を感じることができます。

### ◆色の心理効果◆

色は人の心理に影響を与える力を持っていて、気分を大きく変えてくれる効果があります。

- 赤 … 愛、情熱、怒り、嫉妬、闘争心、派手  
気分を明るくする。気持が前向きになる。
- 黄 … 幸福、元気、明るい、子供っぽい  
集中力を発揮させる。記憶力を高める。気分が明るくなる。
- 青 … 清潔、さわやか、冷静、冷たい、寂しい、男性的  
集中力を高める。食欲を減退させる。睡眠促進。
- 緑 … 自然、安らぎ、さわやか、平和、中性的  
穏やかな気持ちになる。緊張緩和などリラックス作用がある。

普段何気なく選んでいる洋服にもその時の心理状態に大きく関わっています。人は7秒で第一印象が決まるといわれています。生活の中に色をうまく取り入れて色の効果を利用してみるのもいいでしょう。